

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	平日夜間・休日診療所管理運営事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	健康増進課				
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり	主管課長	伊原 理香				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	平日夜間・休日・祝日及び年末年始の急病患者	意図	適時に安心して診療を受けられるよう診療体制を整える。
事業内容	流山市医師会、歯科医師会及び薬剤師会に委託し、保健センター内の「平日夜間・休日診療所」において、平日夜間・休日・祝日及び年末年始の昼間の急病患者の初期診療を行う。 内科・小児科 平日 19:00～21:00 休日 9:00～17:00 歯科 9:00～12:00			
事業開始から現在までの状況変化	昭和50年旧保健センターで開始された休日診療は、昭和62年4月、現在の保健センターで新たに歯科診療を加え、医師会・歯科医師会・薬剤師会の協力により実施されている。また、平日夜間診療については、平成19年10月から開始した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	利用者数（内科・小児科）	3,949	4,170	3,753	人	→→
②	利用者数（歯科）	87	87	92	人	→→	
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
内科・小児科の利用者数については、感染症の流行状況等にも左右されるため、利用者数の傾向について一概に評価するのは難しい。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	39,628,098	40,173,265	40,661,295
事業費(b)(円)	37,568,598	38,159,665	38,683,695
うち一般財源	37,568,598	38,159,665	38,683,695
職員給与費(c)(円)	2,059,500	2,013,600	1,977,600
人役・職員(人)	0.30	0.30	0.30
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	医師会等の要望や患者の声を共有し、安心安全な診療所の環境整備を図る。	③取組における課題(Check)	インフルエンザ流行期に患者が集中したため、診療所内の患者の動線等について感染症対策や円滑な診療確保の観点からの検討が必要。
②H30に実施した取組(Do)	安心安全な診療所の環境確保に努めた。松戸保健所管内で麻しんの感染拡大事例が発生した際は、平日夜間・休日診療所内で感染が拡大しないよう注意喚起等を行った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	インフルエンザの流行入り前のなるべく早い時期に、流山市医師会との検討の場を持ち、改善について対応を検討する。